

平成18年度三重県公共事業再評価箇所一覧表(県事業)

(単位:百万円)

事業名	番号	箇所名	市町名	再評価の理由	全体事業概要と目的	採択年 目標年	事業進捗状況			事業を巡る社会経済状況等の動向	費用対便益分析結果 コスト削減の可能性 代替案の検討 等	今後の事業の見通し	委員会意見等
							総事業費	進捗率	事業進捗内容				
							うち工事費	進捗率					
							うち用地費	進捗率					
河川事業	14	二級河川笹笹川 総合流域防災事業	明和町		<p>【全体事業概要】 全体事業費 30.58億円 計画延長 L=3,380m ・築堤 L= 3,380m ・護岸 L= 1,300m ・掘削 V=209,680m³ ・橋梁 12基 ・井堰 2基 ・落差工 3基</p> <p>【事業目的】 氾濫による家屋や事業所、水田の浸水被害を防止するため、川を拡げ、護岸等を整備する河川改修事業を実施しております。</p>	H4	3,058	90%	<p>【実施事業内容】 ・築堤 L= 3,032m ・護岸 L= 1,166m ・掘削 V=188,083m³ ・橋梁 12基 ・井堰 2基 ・落差工 3基</p> <p>【以降実施内容】 ・築堤 L= 348m ・護岸 L= 134m ・掘削 V=21,597m³</p>	宅地開発による流域内の資産が増加 財政状況の変化	B/C = 24.1 現地発生土の有効利用、施工方法の見直しによるコスト削減に努めます。	厳しい財政状況であるものの、随時、改修をすすめ治水安全度の向上を図ります。	事業継続の妥当性が認められたことから事業継続を了承する。
						H26	876	100%					

平成18年度三重県公共事業再評価箇所一覧表(県事業)

(単位:百万円)

事業名	番号	箇所名	市町名	再評価の理由	全体事業概要と目的	採択年 目標年	事業進捗状況		事業を巡る社会経済状況等の動向	費用対便益分析結果 コスト縮減の可能性 代替案の検討 等	今後の事業の見通し	委員会意見等
							総事業費	進捗率				
							うち工事費	進捗率				
							うち用地費	進捗率				
河川事業	15	二級河川赤羽川 総合流域防災事業	紀北町		<p>【全体事業概要】 全体事業費 23.92億円 計画延長 L=2,900m ・築堤 L=3,868m ・掘削 V=786,800m³ ・護岸 L=3,441m ・樋門・樋管 1基 ・根継工 L=900m ・橋梁 2橋 ・取付道路 L=880m</p> <p>【事業目的】 氾濫による家屋や事業所、水田の浸水被害を防止するため、川を掘り下げ、護岸等を整備する河川改修事業を実施しております。</p>	S55	2,392	45%	<p>H16の台風21号により、甚大な被害が発生したことから周辺住民の危機管理意識が高く、河川の早期改修を強く望んでいる。 財政状況の変化</p>	<p>B/C=2.97 現地発生土の有効活用を行い、コスト縮減に努めます。</p>	<p>厳しい財政状況であるものの、随時、改修をすすめ治水安全度の向上を図ります。</p>	<p>想定氾濫区域など便益の算出根拠について、妥当と判断できる説明が不足していた。従って、これを説明できる資料の提出をまって再審議とする。</p>
							2,116	47%				
						H32	276	27%				

平成18年度三重県公共事業再評価箇所一覧表(市町等事業)

(単位:百万円)

事業名	番号	箇所名	市町名	再評価の理由	全体事業概要と目的	採択年	事業進捗状況		事業を巡る社会経済状況等の動向	費用対便益分析結果 コスト縮減の可能性 代替案の検討 等	今後の事業の見通し	委員会意見等	
						目標年	総事業費	進捗率					事業進捗内容
							うち工事費	進捗率					
							うち用地費	進捗率					
河川事業	106	準用河川北長太川総合流域防災事業	鈴鹿市		【全体事業概要】 全体事業費 14.83億円 計画延長 L=945m 築堤 1,600m 掘削 33,200m ³ 護岸 1,766m 床固工 1箇所 道路橋 4橋 樋門 2基 堰 1基 用地買収 9,300m ² 物件補償 1式	H4	1,483	41%	【実施事業内容】 ・掘削 3,000m ³ ・護岸 190m ・樋門 1基 ・用地買収 4,341m ² 【以降実施内容】 ・築堤 1,600m ・掘削 30,200m ³ ・護岸 1,576m ・床固工 1箇所 ・道路橋 4橋 ・樋門 1基 ・堰 1基 ・用地買収 4,959m ² ・物件補償 1式	事業費の増加 国庫補助金の減少、 市の財政状況が近年 厳しくなっている。 事業期間の延長 流域内では流通施 設や各種工場のほか、 住宅も年々増加してい る。	B/C=4.10 現地発生土の有効利用や施 設の見直し等、更なるコスト 縮減に努めます。	厳しい財政状況であ るものの、随時、改 修をすすめ治水安 全度の向上を図りま す。	排水機能の妥当性を判断する ため、以下の点について説明が 不足していた。これを説明できる 資料の提出をまって再審議とす る。 一、低平地における周辺を含め た流域界 一、豪雨時の防潮樋門の運用
							1,199	39%					
						H30	285	47%					

平成18年度三重県公共事業再評価箇所一覧表(市町等事業)

(単位:百万円)

事業名	番号	箇所名	市町名	再評価の理由	全体事業概要と目的	採択年 目標年	事業進捗状況			事業を巡る社会経済状況等の動向	費用対便益分析結果 コスト縮減の可能性 代替案の検討 等	今後の事業の見通し	委員会意見等
							総事業費	進捗率	事業進捗内容				
							うち工事費	進捗率					
							うち用地費	進捗率					
河川事業	107	準用河川稲生新川総合流域防災事業	鈴鹿市		<p>【全体事業概要】 全体事業費 11.09億円 計画延長 L=940m 築堤 960m 掘削 14,400m³ 護岸 928m 道路橋 7橋 樋門 2箇所 堰 1基 用地買収 24,600m² 物件補償 1式</p> <p>【事業目的】 氾濫による家屋や事業所、水田の浸水被害を防止するため、川を拡げ、護岸等を整備する河川改修事業を実施しております。</p>	H1	1,109	42%	<p>【実施事業内容】 ・築堤 260m ・掘削 5,375m³ ・護岸 252m ・道路橋 2橋 ・堰 1基 ・用地買収 14,364m² 【以降実施内容】 ・築堤 700m ・掘削 9,025m³ ・護岸 676m ・道路橋 5橋 ・樋門 2箇所 ・用地買収 10,236m² ・物件補償 1式</p>	事業費の増加 国庫補助金の減少、市の財政状況が近年厳しくなっている。 事業期間の延長 宅地開発が進んでいる。	B/C=2.52 現地発生土の有効利用や施設の見直し等、更なるコスト縮減に努めます。	厳しい財政状況であるものの、随時、改修をすすめ治水安全度の向上を図っています。	以下の点について説明が不足していた。これを説明できる資料の提出をまって再審議とする。 一、掘切川と稲生新川の治水計画の整合性 一、暫定断面における費用対効果 一、事業費の増額要因
							740	37%					
						H30	369	51%					